



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社メディカルネット 上場取引所 東
コード番号 3645 URL <https://www.medical-net.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 平川 大
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部ゼネラルマネージャー (氏名) 三宅 大祐 TEL (03)5790-5261
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	2,342	17.2	169	△4.5	194	△5.4	115	△0.4
2023年5月期第2四半期	1,997	17.4	177	△28.7	205	△16.8	116	△52.9

(注1) 包括利益2024年5月期第2四半期 124百万円 (△6.0%) 2023年5月期第2四半期 132百万円 (△46.4%)

(注2) 2023年5月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年5月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	12.80	—
2023年5月期第2四半期	13.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	3,568	2,029	56.4
2023年5月期	3,467	1,929	55.3

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 2,012百万円 2023年5月期 1,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	11.1	380	0.3	360	△16.7	214	84.6	23.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	10,773,000株	2023年5月期	10,773,000株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	1,727,730株	2023年5月期	1,727,730株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	9,045,270株	2023年5月期2Q	8,876,849株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2024年1月23日（火）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を会場及びライブ配信にて開催する予定です。当日使用する決算説明会資料はTDnetで同日開示しております。
また、当社Webサイト（<https://www.medical-net.com/ir/library/>）に本日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「インターネットを活用し 健康と生活の質を向上させることにより 笑顔を増やします。」をミッションとして掲げております。このミッションの下、歯科医療プラットフォームビジネスを軸に、口腔周りから全身の健康を導き、笑顔溢れる世界を創るヘルステック企業として事業を展開しております。

また、生活者がより良い治療を自ら選択でき、事業者が持続的な成長を享受できるサービスを提供することにより、世界中の人々の健康と成長を生涯にわたって支援する事業への展開を目指しております。この目標を達成するために、インターネットを活用したサービスの提供にとどまらず、歯科器材・医薬品の卸、医薬品の開発・製造やタイにおける歯科医院の運営をしております。

こうしたなか、当社グループは、既存事業のさらなる効率化を進めるとともに歯科業界でのメディカルネット経済圏を構築し、歯科医療業界のデジタル化の中核を担うプラットフォームの確立を進めております。さらに、口腔周りから始まる健康寿命増進プラットフォームビジネスという新たなサービスの構築に取り組み、事業を拡大したことにより売上高は前年同四半期比で増加いたしました。一方で、事業拡大のための人材採用を強化したことにより人件費が増加し、営業利益は前年同四半期比で減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,342,045千円（前年同四半期比17.2%増）、営業利益は169,788千円（前年同四半期比4.5%減）、経常利益は194,049千円（前年同四半期比5.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は115,771千円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間において、2022年3月31日に行われたNU-DENT Co., Ltd. 及びD. D. DENT Co., Ltd. との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第2四半期連結累計期間の数値については、遡及適用後の数値で比較分析を行っております。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① メディア・プラットフォーム事業

メディア・プラットフォーム事業は、「口腔周りから健康な社会の実現」のため、価値ある情報の提供を目的に、当社グループが運営するポータルサイトを通して生活者に有益な歯科情報や美容情報、ヘルスケア情報をお届けしております。当第2四半期連結累計期間において、生活者によりよい情報をお届けするための歯科系新メディアをリリースしたことに加え、Googleのアルゴリズムの変動への対応が進んだことや、歯科自由診療への需要が高まったことで、歯科クリニックの広告出稿意欲が高まり売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は562,129千円（前年同四半期比12.6%増）、セグメント利益は314,565千円（前年同四半期比5.9%増）となりました。

② 医療機関経営支援事業

医療機関経営支援事業においては、SEMサービス及びHP制作・メンテナンスサービス、歯科医院運営、歯科商社事業、医薬品・医薬部外品の製造・販売、歯科医院の事務代行・開業支援・経営支援、不動産販売等を行っております。

1. SEMサービス

クライアントのHPへの訪問数を増やすために、SEOサービス及びリスティング広告の運用代行サービスを行っております。

SEOサービスにおいては、アクセス増加と順位対策を同時に行える新サービスの提供を開始し、継続的な収益の獲得に努め、また、リスティング広告においては、多様化・細分化するユーザーニーズに応えるべく、従来のYahoo!、Googleのリスティング広告、LINEに加え、TikTok広告などの運用代行を開始するなどサービスの拡充に努めた結果、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

2. HP制作・メンテナンスサービス

主に「からだ」・「健康」・「美」に関連する事業者（歯科医院、エステサロン等）をクライアントとしてHP制作・メンテナンスサービスを提供しております。近年、SNSの利用者が増え、専門知識がなくとも手軽に情報を発信できるようになった背景もある中で、受注制作案件を確実に積み上げ、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

3. 歯科医院運営

タイ・バンコクの連結子会社及び連結子会社（孫会社）において歯科医院を3院運営しております。2022年3月に連結子会社（孫会社）化したFukumori Dental Clinic Co., Ltd.を中心に人材育成、組織改革を行いました。その結果、3院ともバンコクの頼れる国際クリニックへの成長を遂げ、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

4. 歯科商社事業

国内の連結子会社と連結子会社（孫会社）の2社、及びタイ・バンコクの連結子会社（孫会社）2社において、歯科商社事業を行っております。

特に、東京と大阪の2拠点体制を取っている国内において、大阪での事業が好調に推移したことにより、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

5. 医薬品・医薬部外品の製造・販売

連結子会社（孫会社）において、医薬品・医薬部外品の製造・販売を行っております。主力製品の販売強化により、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

6. 歯科医院の事務代行・開業支援・経営支援・不動産販売

歯科医院の開業から経営支援までのワンストップサービスを提供しております。不動産事業の本格稼働に加え、経営支援サービスの契約数が順調に増加いたしました。また、積極的な人材の採用も継続し、結果として売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,708,274千円（前年同四半期比20.8%増）、セグメント利益は68,226千円（前年同四半期比32.5%増）となりました。

③ 医療BtoB事業

医療BtoB事業においては、歯科医療従事者のための総合情報サイト「Dentwave.com」での広告ソリューションの提供を中心とし、リサーチ、コンベンションの運営受託等、様々なサービスを行っております。

歯科関連企業の広告出稿動向は、従来、学会や展示会等リアルな場での活用が主でしたが、コロナ禍においてWEB広告の需要が高まり、普及いたしました。現在は学会や展示会の機会も復活し、広告手法の選択肢が増えたことにより、歯科関連企業のWEB広告への投資比率が低下し、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は69,829千円（前年同四半期比15.8%減）、セグメント利益は7,154千円（前年同四半期比71.9%減）となりました。

④ その他

管理業務受託事業等においては、経理、人事総務等の管理業務を受託し、サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は1,812千円（前年同四半期比増減なし）、セグメント利益は1,812千円（前年同四半期比増減なし）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,568,619千円となり、前連結会計年度末に比べ101,259千円（前連結会計年度末比2.9%増）の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ101,259千円増（前連結会計年度末比2.9%増）の3,568,619千円となりました。これは主に、現金及び預金が119,024千円、長期前払費用が24,352千円減少いたしました。受取手形及び売掛金が129,768千円、商品が99,499千円増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,235千円増（前連結会計年度末比0.1%増）の1,539,575千円となりました。これは主に、未払金が41,811千円、長期借入金が14,436千円減少いたしました。買掛金が25,334千円、短期借入金が50,807千円増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ100,023千円増（前連結会計年度末比5.2%増）の2,029,043千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益115,771千円の計上と、剰余金配当22,613千円を行ったためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ119,024千円減少し、1,394,325千円（前連結会計年度末比7.9%減）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は130,900千円（前年同四半期は59,445千円の資金の増加）となりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上、仕入債務の増加があったものの、売上債権の増加、棚卸資産の増加、未払金の減少、為替差損益の計上、法人税等の支払があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は14,267千円（前年同四半期は32,156千円の資金の減少）となりました。これは有形固定資産の取得による支出があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は14,100千円（前年同四半期は906千円の資金の減少）となりました。これは長期借入金の返済による支出、配当金の支払があったものの、短期借入金の純増があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年7月18日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,518,550	1,399,526
受取手形及び売掛金	693,749	823,518
商品	123,968	223,467
前渡金	57,666	55,765
その他	84,900	98,015
貸倒引当金	△19,260	△21,793
流動資産合計	2,459,574	2,578,500
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	31,233	35,082
土地	40,920	40,920
その他（純額）	39,280	45,470
有形固定資産合計	111,433	121,473
無形固定資産		
のれん	293,642	285,950
その他	12,311	10,502
無形固定資産合計	305,954	296,452
投資その他の資産		
投資有価証券	62,152	57,882
長期貸付金	44,521	45,809
長期前払費用	296,107	271,754
繰延税金資産	49,935	57,663
その他	185,182	187,961
貸倒引当金	△47,502	△48,878
投資その他の資産合計	590,397	572,193
固定資産合計	1,007,785	990,119
資産合計	3,467,360	3,568,619
負債の部		
流動負債		
買掛金	322,933	348,268
短期借入金	680,480	731,288
1年内返済予定の長期借入金	27,727	27,682
賞与引当金	—	3,232
未払法人税等	90,816	79,898
その他	315,959	262,916
流動負債合計	1,437,916	1,453,285
固定負債		
長期借入金	82,622	68,186
退職給付に係る負債	11,065	14,116
その他	6,735	3,988
固定負債合計	100,423	86,290
負債合計	1,538,340	1,539,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,034	286,034
資本剰余金	337,314	337,314
利益剰余金	1,710,467	1,803,625
自己株式	△443,718	△443,718
株主資本合計	1,890,097	1,983,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,229	2,229
為替換算調整勘定	24,689	26,660
その他の包括利益累計額合計	26,919	28,890
非支配株主持分	12,002	16,896
純資産合計	1,929,020	2,029,043
負債純資産合計	3,467,360	3,568,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	1,997,979	2,342,045
売上原価	1,173,877	1,455,560
売上総利益	824,101	886,484
販売費及び一般管理費	646,282	716,696
営業利益	177,819	169,788
営業外収益		
受取利息及び配当金	378	708
未払配当金除斥益	53	45
為替差益	21,420	25,189
その他	6,969	1,892
営業外収益合計	28,822	27,836
営業外費用		
支払利息	1,528	2,170
貸倒引当金繰入額	—	1,376
その他	17	28
営業外費用合計	1,545	3,574
経常利益	205,095	194,049
特別利益		
固定資産売却益	1,631	2,552
特別利益合計	1,631	2,552
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4,269
特別損失合計	—	4,269
税金等調整前四半期純利益	206,727	192,331
法人税、住民税及び事業税	80,287	73,629
法人税等調整額	△3,194	△7,728
法人税等合計	77,092	65,901
四半期純利益	129,635	126,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,421	10,658
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,213	115,771

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	129,635	126,430
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,331	△1,442
その他の包括利益合計	3,331	△1,442
四半期包括利益	132,966	124,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,215	130,366
非支配株主に係る四半期包括利益	7,751	△5,378

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	206,727	192,331
減価償却費	7,833	8,951
のれん償却額	22,971	15,202
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,285	3,908
受取利息及び受取配当金	△378	△708
支払利息	1,528	2,170
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,269
固定資産売却損益 (△は益)	△1,631	△2,552
為替差損益 (△は益)	△21,420	△25,189
売上債権の増減額 (△は増加)	5,988	△129,768
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△66,657	△99,976
前払費用の増減額 (△は増加)	△31,035	△10,314
長期前払費用の増減額 (△は増加)	18,727	24,352
仕入債務の増減額 (△は減少)	61,314	25,334
未払金の増減額 (△は減少)	△53,536	△41,811
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,602	△10,797
その他	5,432	△697
小計	142,976	△45,293
利息及び配当金の受取額	378	708
利息の支払額	△1,528	△2,170
法人税等の支払額	△82,380	△84,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,445	△130,900
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,263	△12,320
有形固定資産の売却による収入	1,631	2,552
投資有価証券の取得による支出	△20,000	—
貸付けによる支出	—	△3,000
貸付金の回収による収入	1,678	1,695
敷金及び保証金の差入による支出	△8,700	△2,200
保険積立金の積立による支出	△860	△860
その他	△642	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,156	△14,267
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,367	50,819
長期借入金の返済による支出	△16,232	△14,481
配当金の支払額	△35,041	△22,237
財務活動によるキャッシュ・フロー	△906	14,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,543	12,043
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39,925	△119,024
現金及び現金同等物の期首残高	1,128,788	1,513,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,168,714	1,394,325

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2022年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	メディア・ プラットフォーム 事業	医療機関 経営支援 事業	医療BtoB 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	499,169	1,414,039	82,958	1,996,167	1,812	1,997,979
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	213	12	228	—	228
計	499,172	1,414,252	82,970	1,996,395	1,812	1,998,207
セグメント利益	296,978	51,487	25,419	373,885	1,812	375,697

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務受託事業等であります。

2. 前第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,885
「その他」の区分の利益	1,812
全社費用（注1）	△198,742
その他の調整額（注2）	864
四半期連結損益計算書の営業利益	177,819

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	メディア・ プラットフォーム事業	医療機関 経営支援 事業	医療BtoB 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	562,129	1,708,274	69,829	2,340,233	1,812	2,342,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	7	7	—	7
計	562,129	1,708,274	69,836	2,340,240	1,812	2,342,052
セグメント利益	314,565	68,226	7,154	389,946	1,812	391,758

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務受託事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	389,946
「その他」の区分の利益	1,812
全社費用（注1）	△222,834
その他の調整額（注2）	864
四半期連結損益計算書の営業利益	169,788

(注) 1. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. その他の調整額は、各報告セグメントが負担する営業費用と報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益との消去によるものです。